

## ええやん そのままで

著者名	トッド・パール	充実した仕事に就きたい。でも、幸せな家庭も築きたい。 そんなあなたのための生き方バイブル。「夫の転勤をチャンスに変える方法」「子育てのサポーターを増やすヒント」「再就職のための学び」など、仕事と家庭を両立させてきた女性たちの体験談から。自分らしく幸せに生きるためのシンプルな習慣を探ります。心配しなくても大丈夫。きつとうまくなります！
出版社	エルくらぶ	
登録月日	H23.6	
登録番号	1313	

## 下に見る人

著者名	酒井 順子	あの人に比べれば自分はまだまし。 なぜ人は人を下に見る！？人が集えば必ず生まれる序列に区別、そして差別。自らの”人を下に見てしまう”感覚を吐露し、人間の心の闇に鋭く迫る。 なかなか書けないホンネを余すところなく露わにする異色のエッセイ！
出版社	角川書店	
登録月日	H25.2	
登録番号	1353	

## 職場でできるパワハラ解決法

著者名	金子雅臣	「職場のいじめ・いやがらせ」に関する労働相談は増の一途をたどっている。第一人者である著者が実践的解決法を指南する。
出版社	日本評論社	
登録月日	H25.2	
登録番号	1354	

## 部長、その恋愛はセクハラです

著者名	牟田和恵	現実に生じるセクハラは、お役所や会社、大学が発行している防止パンフレットや各種マニュアルの事例とはだいぶ違うものである。結局、この問題の難しさは、ほとんどのセクハラが、グレーゾーンで生み出される点にこそあるのだ。 なぜ女性ははっきりとノーと言わないのか、男性はなぜ気づかないの・・・。
出版社	集英社	
登録月日	H26.2	
登録番号	1377	

## それ、パワハラです 何がアウトで、何がセーフか

著者名	篠山尚人	何がアウトで、何がセーフか 労働局に「職場のいじめ・いやがらせ」と分類される問題の相談件数は、約4万6千件。社会で急増する「パワハラ問題」への対策は、現在、日本社会で喫緊の課題となっている。
出版社	光文社	数多くの労働事件に携わってきた弁護士が、豊富な実例に基づき、その実態、法的な視点、具体的な対策などに触れ、今後の社会の在り方を考える。
登録月日	H26.2	
登録番号	1378	

## パワハラ防止のためのアンガーマネジメント入門

著者名	小林浩志	司の理不尽な怒りで職場が萎縮する。怒りをコントロールすることでパワハラを防止し働きやすく成果の上がる職場にする方法を説く。
出版社	東洋経済新報社	
登録月日	H28.3	
登録番号	1465	

## ここからセクハラ

著者名	牟田和恵	もう我慢しない女 世界的なうねりを見せる#MeToo運動などにより、セクハラ問題への関心が一層高まる昨今。国内では財務省の事件をはじめ、次々に起こるセクハラ事件で、加害者サイドの関係者たちの無理解が露呈された。
出版社	集英社	また、被害者側から声を上げにくい状況もいまだに続いている。ロングセラー『部長、その恋愛はセクハラです！』の著者が、セクハラの明確な線引きの認識を促す指南書。
登録月日	H31.2	
登録番号	1552	

## ハラスメントゲーム

著者名	井上由美子	大手スーパーを舞台に、コンプライアンス室長に任命された主人公が、部下とともにセクハラ、パワハラな等々さまざまな難題に立ち向かう痛快エンタメ企業小説。今話題のコンプライアンス室を舞台に、さまざまなハラスメント問題と会社の闇を描く、スリリングなエンタメ企業小説。
出版社	河出書房新社	
登録月日	H31.3	
登録番号	1559	

## さようなら！ハラスメント

著者名	小島慶子	財務省官僚トップによるセクハラ問題、医学部不正入試問題、スポーツ界を揺るがす数々のパワハラ、アイドルに対する人権無視…。問題は至るところに噴出し、平成の終わり、私たちはやっと目覚めようとしている。そもそもハラスメントとはどういうことなのか？なぜハラスメントが起きるのか？
出版社	晶文社	
登録月日	R1.8	
登録番号	1565	

## 性の多様性を考える

著者名	北海道	性（セクシュアリティ）は多様です。そして、個人の尊厳にかかわる大切な問題です。どの性別の人を好きになるのかは、人それぞれ違います。自分の性別をどのように認識するかは、人それぞれ違います。
出版社	くらし安全局道 民生活課	
登録月日	R1.8	
登録番号	1566	

## 日本と世界のLGBTの現状と課題

著者名	LGBT法連合会	LGBTなどの用語は、レズビアン、ゲイなど「人」のカテゴリーを表す語であるのに対し、SOとGIは、すべての人の持つ属性です。どういう性別を性愛対象とするかしないかを「性的指向」、自分をどういう性別と認識するかしないかを「性自認」といいます。性的指向・性自認＝SOGI（「ソジ」または「ソギ」）をどう考えるか。LGBTの現状をSOGIで検討。欧米などの関連法制定の動向を各国の大使館代表が、日本の大学の取り組みを学長などが語り、日本に求められる立法、その他の課題を提示。
出版社	かもがわ出版	
登録月日	R2.3	
登録番号	1577	

## はじめよう！SOGI/ハラのない学校・職場づくり

著者名	「なくそう！ SOGI/ハラ」実行 委員会	「それってSOGI/ハラ！？」「ホモネタ」やアウティング（暴露）、男女別制服の強要など、性的指向や性自認（SOGI）にかかわるハラスメントは深刻な人権侵害となります。基本的なとらえ方から、事例も多数紹介した初の入門書！性的指向や性自認（SOGI）に関するハラスメントはLGBTQ等への深刻な人権侵害に。基本的なとらえ方から事例も多数紹介。
出版社	大月書店	
登録月日	R2.3	
登録番号	1578	

## ぼくは性別モラトリアム

著者名 からたちはじめ セクシュアリティについて学べる一冊  
日本には左利きやAB型と同じぐらい、LGBTがいる。世の中は男と女の二択そもそもじぶんにも性があることがイヤな人もいる・・・。  
出版社 幻冬舎 女ではない、でも 男になりたいわけでもない

登録月日 R3.3

登録番号 1590

## 男の子になりたかった女の子になりたかった女の子

著者名 松田青子 ”あなたを救う非常口はここ”  
ジェンダー・バイアスを巡る違和感・・・  
出版社 中央公論新社 性的に登場し、性的に話し、性的に動き、性的に扱われることへの抗議を、あるときはユーモアを交えて、他方では容赦ない真っすぐな言葉で描き出す。

登録月日 R3.8

登録番号 1593

## 「男らしさ」はつらいよ

著者名 ロバート・ウェップ まずは、鏡に映る男から変えないか。  
男性中心社会を強固に形づくる「男らしさ」の呪縛について著者の個人史から考察する、愛と迷いのジェンダー・エッセイ。英国の人気コメディアン/文筆家、ロバート・ウェップの半生記を邦訳。  
出版社 双葉社 自ら内面化してしまう規範に苦しんでいるのは君だけじゃない。いっしょに少しずつ変わっていこう。

登録月日 R3.8

登録番号 1594

## ジェンダーで見るヒットドラマ

著者名 治部れんげ ジェンダー視点でドラマを見ると社会がクリアに見えてくる。  
エンタメ性の高い連続ドラマには、必ずその国の世相が反映される。  
出版社 光文社 今やビジネスにも家庭円満にも欠かせなくなった「ジェンダー視点」でドラマを見れば、世界の今も見えてくる。

登録月日 R4.1

登録番号 1597

## ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方

著者名 多賀 太 ジェンダー格差大国ニッポン 妻の「イライラ」夫の「モヤモヤ」  
なかなか進まない男性の育児・家事参加男性稼ぎ手社会を壊すことが  
男性の生きづらさを解消するジェンダー平等に向けた本気の働き方・  
出版社 時事通信出版局 暮らし方改革を！

登録月日 R4.7

登録番号 1603

## 失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック

著者名 新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム 悪気はなかったではすまされない時代です。  
現役新聞記者たちが自省の念を込めて贈る「気づきの書」。  
「美しすぎる〇〇」がダメな理由がわからない。女医、女子アナと無  
意識に言ってしまう。「女性ならではの気配り」はほめ言葉のつもり  
だった？  
出版社 小学館 無意識の偏見と男尊女卑、性別役割分業のすりこみなどジェンダーの  
視点で改めて見直すとたくさんの問題点がみえてくる。

登録月日 R4.7

登録番号 1604

## 多様性って何ですか？

著者名 羽生祥子 多様性の中でも日本が不得意なのが、ジェンダー平等。国籍や宗教、  
LGBTQなど、属性の多様性を組織内で高めようという声には、さほ  
ど異論反論は出ません。ですが、「男女平等」の話となると、総論賛  
成、各論反対、あれこれ理屈が拳がり、いつのまにか「女性だけ特別  
扱いしない」という結論に…。こんな二の足、三の足を踏み続けて早  
出版社 日経BP 20年のニッポン。世界と比べてこんなに遅れている。

登録月日 R4.7

登録番号 1605

## だからお前はダメなんだ

著者名 さわぐちけいすけ キュートで毒舌な悪魔が人間界に旋風を巻き起こす！うまくいかない  
毎日に悩む主人公のもとに、ネガティブな感情が大好物な悪魔「佐田  
沼さん」がやってきた！ 佐田沼さんは得意の毒舌を駆使して主人公  
出版社 ライツ社 たちを翻弄するが…。悪魔のささやきは人間たちを地獄へ誘うのか？  
それともー？

登録月日 R5.3

登録番号 1614

## マイノリティだと思っていたらマジョリティだった件

著者名	松井彰彦・塔島ひろみ	社会の不平等や偏見、家族のトラブルや無理解などに悩み、抗い、時にやりすごして今、それぞれ何を思うのか。本書に登場するのは、いわゆる〈マジョリティ〉や〈フツウ〉からはみ出しているとされる人たちです。世間からは異なる者、弱者とされ、差別されたり、排除されたりしがちな彼らですが、かわいそうな境遇のかわいそうな話を伝えたいわけでも、感動してもらいたいわけでもありません。
出版社	ヘウレーカ	
登録月日	R5.3	
登録番号	1617	

## いいね！ボタンを押す前に

著者名	李美淑 他	傷つかない、傷つけないためのSNSユーザー基礎知識！ 私たちがスマホを手にして10年ちょっと。 ネット空間はまだ欠陥だらけ。どうしてもっと豊かな場になりうるのか。フィルターバブル、アテンション・エコノミーなどネットの仕組みも理解して、炎上しない。無意識に差別しないためのガイドブック。
出版社	亜紀書房	
登録月日	R5.8	
登録番号	1619	

## 教師だから知っておきたい LGBT入門

著者名	遠藤まめた	用語や概念、取り組みのポイント、実践事例をやさしく紹介。待望の「教師のための入門書」です！「性の多様性」、まず知っておきたいポイント。 学校で、社会で、当事者の味方になるために 一人ひとりの「性」を大切にする実践 ～インタビューをもとに～
出版社	ほんの森出版	
登録月日	R5.8	
登録番号	1622	

## 失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック

著者名	新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム	ジェンダー平等を日本で早く実現したい。それにはまず、メディアが発信する記事から見直さなければならない。 この本は、現役の新聞記者たちの強い危機感から生まれたものです。ジェンダー表現のリテラシーを高めることに必須の手引書的な一冊です。
出版社	小学館	
登録月日	R5.12	
登録番号	1625	



## 図解ポケット ジェンダーがよくわかる本

著者名 瀬地山角・中村圭 現在、ジェンダーは義務教育で学ぶ必修用語であり、国の基本施策のひとつになっています。ジェンダーに関する無理解は、ビジネスの世界で致命的なミスにつながりかねません。職場や家庭で起きがちな問題やハラスメントの防止策などをやさしく解説した入門書です。無意識の偏見や差別をなくしましょう！

出版社 秀和システム

登録月日 R5.12

登録番号 1626

## ピンクとブルーに分けない育児

著者名 カイル・マイヤーズ ジェンダーをなくすのではなく、ジェンダーに基づく差別をなくしたい。生まれた時から子どもを男女の枠にはめることに、どんな意味があるのだろう。社会学者のカイルとその夫ブレントが実践した「性別にとらわれない育児」の記録。

出版社 明石書店

登録月日 R6.2

登録番号 1629

## いちばんやさしいLGBTQ

著者名 清水展人 多様性の時代の象徴ともいえるLGBTQ。小学校高学年での学習指導で行われる動きがあるなど、現在、子どもから大人まで正しい理解が求められています。

出版社 KADOKAWA 自身がトランスジェンダーであり、日本LGBT協会の代表理事である清水展人氏が、優しく解説。LGBTQをもっと知りたい人、買って子どもに読ませたい人、自分が当事者の人、身近にいる人…多くの方に読んでいただきたい一冊です。

登録月日 R6.7

登録番号 1630

## うちは「問題」のある家族でした

明日、うちもこうなるかもしれない

著者名 菊池真理子 問題を抱えた親や配偶者、子どもとの関係に悩む人たちが、自分の家族の「問題」とどう向き合い、乗り越えてきたのか。時には距離を置き、時には共存の道を模索しながら、それぞれが選んだ結末とは？ 家族の困難をともに乗り越えるためのヒントが詰まった一冊です。

出版社 KADOKAWA

登録月日 R7.2

登録番号 1638

## 男はクズと言ったら性差別になるのか

著者名 刈阿・ツグイ 社会やその地域の文化にはびこる差別や偏見。人種差別だけではなく、男女差別、年代での差別、弱者への差別などなど、一部の人たちへの酷い扱いがはびこっている。こうした問題は社会正義という観点から考えるとどのように対処すればいいのだろうか。

出版社 柏書房

登録月日 R7.2

登録番号 1639

## 性の多様性ってなんだろう？

著者名 渡辺大輔 あなたの“性”はなんですか？  
「LGBTQ+」だけじゃない、「ふつう」の性のあり方も通して、“私”について考えよう。

出版社 平凡社 多様な性のあり方から、自分と社会のつながりが見えてくる！

登録月日 R7.4

登録番号 1642

## こんな世の中で生きていくしかないなら

著者名 りゅうちえる 「自分を好きになるなんて難しい。できることは自分を甘やかしてあげること」——。息苦しさを感じる心がふっと軽くなる、りゅうちえる初の著書。「多様性」や「自分らしさ」「子どもへの教育」「家族愛」など、いま思うことをつづる。

出版社 朝日新聞出版

登録月日 R7.4

登録番号 1643

## 図解でわかる14歳からのLGBTQ+

著者名 社会応援ネットワーク 国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）とも関わる、「LGBT」や「ジェンダー」について、図解を使ってわかりやすく紹介。

出版社 太田出版 「LGBTQ+って何？」、「LGBTQ+の人ってどれくらいいるの？」、「LGBTQ+だと学校で困ることはあるの？」など、32の素朴な質問に答えるQ&A形式で構成しました。

登録月日 R7.4 読んだり、眺めたりするうちに、LGBTQ+がとても身近なテーマに！

登録番号 1644

## 改訂新版LGBTってなんだろう？



著者名	薬師実芳 他	体育やプール、制服、学校行事、友だち関係、カミングアウト…… LGBTの子どもたちにとって、日常生活の中にもたくさんのつらい場面や不安な要素があります。
出版社	合同出版	そんな時、身近に一人でも相談できると思える人がいることが何よりも力になります。
登録月日	R7.4	教育に携わる人はもちろん、子どもとかかわるすべての大人に読んで もらいたい1冊です。
登録番号	1645	

## 教育にひそむジェンダー

著者名	中野円佳	理想（多様性奨励）と現実（根強いバイアス）のギャップが大きすぎる！
出版社	筑摩書房	学校・家庭・メディアで与えられる「らしさ」の何が問題か。
登録月日	R7.10	赤ちゃんから幼児、小学生、中高生、大学生まで、育児や教育を通して子どもたちに与えられるジェンダーイメージについて、教育社会学の知見や著者自身の子育て経験を踏まえて検証・考察する。
登録番号	1646	